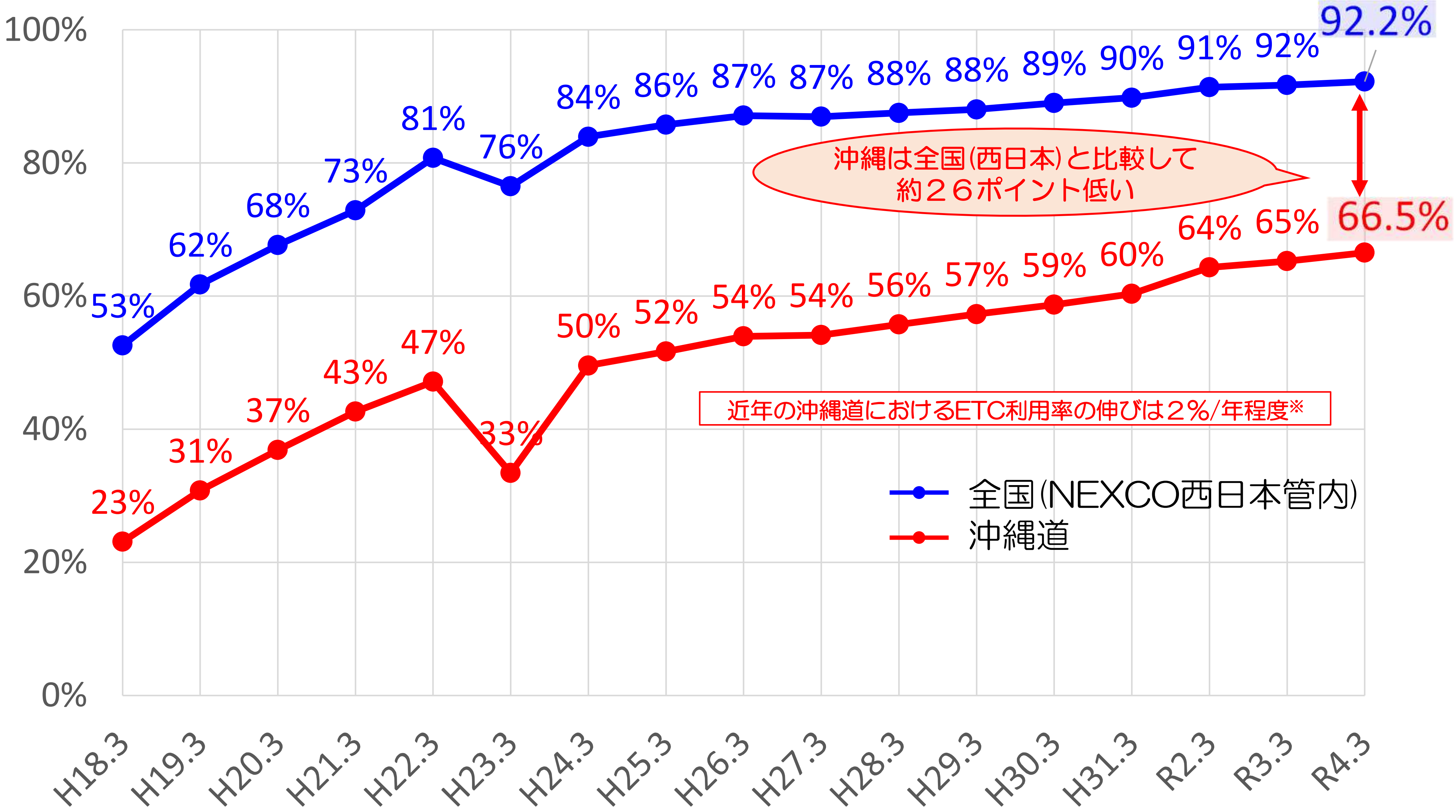
（３）沖縄自動車道における現状について（ＥＴＣ利用の現状）

◆全国（NEXCO西日本管内）と沖縄道のＥＴＣ利用率の推移



※H24.3(50%)からR4.3(66.5%)の伸びから算出

（３） 沖縄自動車道における現状について（ETC利用促進への取り組み実績）

■沖縄県における広報実績

①ドライバーに向けた発信　：ポスター・チラシ、インターネット広告・街頭ビジョン・ガソリンスタンドレジロール報告 等
②マスメディア・WEB媒体等：新聞広告・WEB広告・ラジオCM、ラジオ番組タイアップ　等

前年度　高速道路の現金利用者に対して資料配布や、モニタリング、アンケート調査並びに分析を実施

今年度　①訴求する対象者やエリアを広げる
②ETC利用のメリットをわかりやすく伝える
をポイントに利用促進を呼び掛けるプロジェクトを展開しました。

ドライバーに向けて発信

県内ホームセンター、日本自動車販売連合協会など459カ所で設置・配布

ポスター　A2 500部

チラシ　A4 三つ折り 37,800枚
A4 4,350枚（商工会議所用）

インターネット広告

docomo
ドコモメール メッセージS
セグメントした
20,000名に配信
期間：1/28・2/27

スマホオリコミ
想定インプレッション数:14,285回
期間：1月・2月

ガソリンスタンド レジロール広告

沖縄本島内
15店舗で実施
（1SSあたり15ロール）
期間：1/18～
約1ヶ月
※ロールが無くなり次第終了

街頭ビジョン　15秒・3種制作

本島内10ヵ所での
放映期間：1月（2本/h）

全県に向けて発信（マス+WEB媒体）

新聞広告

琉球新報
沖縄タイムス

1・2月掲載
3パターンを順番に
各紙20回掲載

WEB広告

YAHOO! Google

沖縄在住の18歳以上の男女を対象に
国内最大級の検索エンジンYahoo!とGoogleの
バナー広告展開を行いました。

■ヤフー広告
期間：1月・3月
想定クリック数：2,860数
■グーグル広告
期間：1月
想定クリック数：2,860数

ラジオCM　ラジオ沖縄　FM Okinawa　RBC iラジオ

20秒・3種制作
期間：12～2月→各局 63本、期間中毎日計189本放送
期間：　3月→ラジオ沖縄のみ 22本

ETCでお財布にイイコト 篇	ETCでココロにイイコト 篇	ETCで環境にイイコト 篇
リンコーン♪	リンコーン♪	リンコーン♪
（女性&男性） ETCで 「みんなにイイコト」 プロジェクト!	（女性&男性） ETCで 「みんなにイイコト」 プロジェクト!	（女性&男性） ETCで 「みんなにイイコト」 プロジェクト!
（女性） ETCの マイレージサービスに登録すると 高速の料金割引など、 いろんな特典があるんだって!	（男性） 高速道路の料金所、 混んでてうんざり。。 でもETCを使えば スイスイ進んでストレスフリー!	（子ども） 料金所の渋滞が減ると・・ 自動車からのCO2も少なくなる! それって環境に優しいね～!
ETCで お財布にイイコト、 始めよう!	ETCで ココロにイイコト、 始めよう!	ETCで 環境にイイコト、 始めよう!
沖縄県	沖縄県	沖縄県

ラジオカーによる事業PR

・ラジオ沖縄　2/25 11:30～ ハッピーアイランド内
・FM Okinawa 3/3　16:05～ 華華天国内
・RBC iラジオ　3/18 17:10～ あまくま訪問

ラジオ番組タイアップ

ラジオ沖縄

2/18 12:00～13:50
玉城知事 ゲスト出演
番組内コーナー
「アンケー島」にて
「ETCを利用していますか?」
Aはい。利用しています
Bいいえ。利用していません
でアンケートを実施。
結果はA 53%・B47%
メール総数 278通（FAX1通）

たくさんの
ご意見を
いただきました。

TV ゲスト出演

3/6 18:00～18:55
玉城知事 ゲスト出演

沖縄県ホームページへ誘導

■NEXCO西日本における広報実績

YouTube動画、テレビCM、ラジオCM、チラシ・ポスター、WEBサイト

○ YouTube動画・テレビCM

※テレビCMについては、4月上旬～9月まで放送予定

○ ラジオCM

ジョニーさん：ゆりちゃん！

嘉数さん：ジョニーさん、なんですか？

ジョニーさん：早くて、楽ちん、おトク。
何のことかわかる？

嘉数さん：おいしいお店！

ジョニーさん：そっちのアゲアゲじゃなくて、
高速道路のETCのこと！
気分もアゲアゲになるよ！

嘉数さん：アゲアゲETCで検索！

NEXCO西日本が8時をお知らせします。

※～9月まで放送予定

ジョニー宜野湾さんと嘉数ゆりさんによる、YouTube動画・テレビCM・ラジオCMにより、ETC利用促進をPR

○ チラシ・ポスター

お得な平日朝夕割引の認知度向上のため、チラシ・ポスターの配布、割引シミュレーションサイトを作成

○ WEBサイト

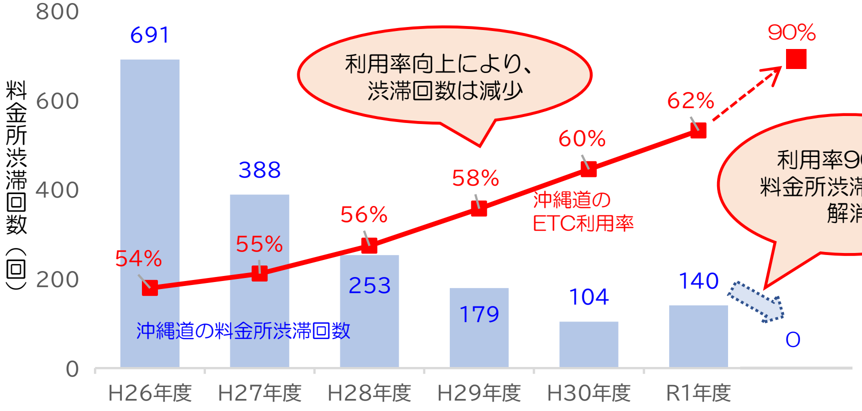
（３）沖縄自動車道における現状について（ETC利用率が低いことによる主な課題）
①料金所渋滞

○ 沖縄道における料金所での渋滞は、年間140回程度発生しています。（※料金所が原因の渋滞）
○ インターチェンジのランプ等での追突事故件数は、全国平均に比べ約2.7倍発生しています。

○ 仮にETC普及率が90%になれば、料金所渋滞はほぼ解消の見通しです。
○ 料金所における渋滞解消により事故減少にも効果が期待されます。

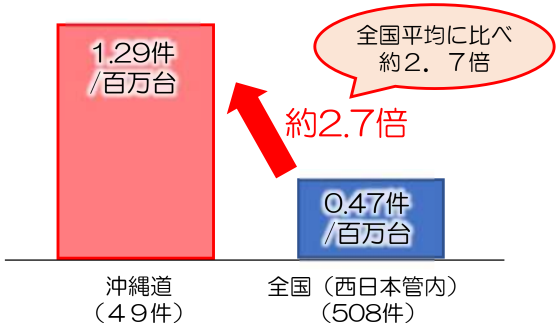
沖縄道のETC利用率と料金所渋滞回数※推移

※滞留車両が料金所広場を越え、ランプ部までつながった回数を集計



沖縄道のランプ等での追突事故※件数

※R1における、ICランプ部・料金所広場での追突事故を集計



出典：NEXCO西日本データ

西原ＩＣにおける出口渋滞状況

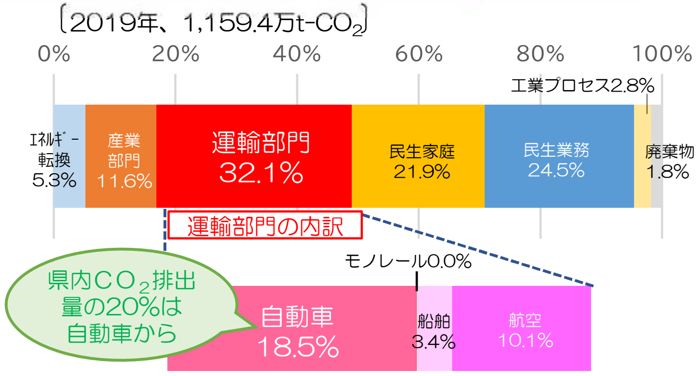
料金所渋滞での
追突事故事例（西原IC）

（３）沖縄自動車道における現状について（ETC利用率が低いことによる主な課題）
②料金所渋滞による環境負荷

- 沖縄県内CO_2排出量のうち、<u>20%は自動車からの排出</u>となっています。
- 料金所付近で発生する渋滞は、排気ガスの量を増やし、<u>CO_2を大量に排出</u>します。

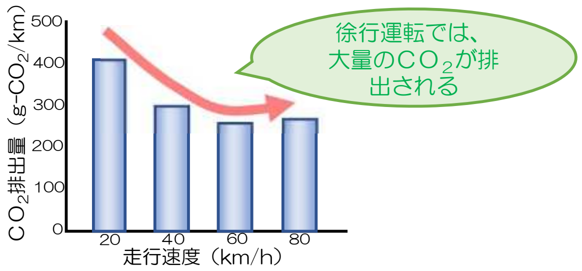
- ETCへの転換が進めば、料金所での一旦停止がなくなり、<u>年間1,200tのCO_2削減効果</u>もあり、環境負荷の軽減が期待されます。

沖縄県における部門別CO_2排出特性



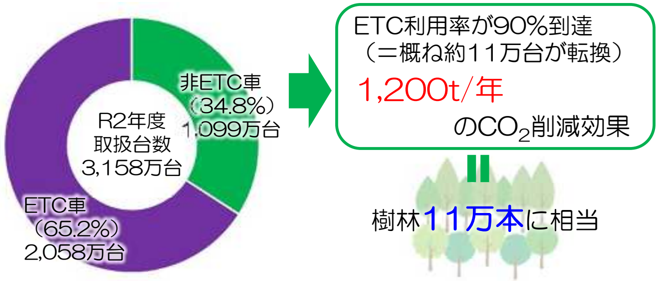
出典：第２次沖縄県地球温暖化対策実行計画（沖縄県気候変動適応計画）進捗管理報告書
令和４年３月　沖縄県環境部環境再生課

CO_2排出量と走行速度の関係



出典：国総研資料

ＥＴＣ普及時のCO_2削減効果



ETCを搭載した車１台あたり、年間11kgのCO2を削減

出典：ｴｺﾛｰﾄﾞ・ｷｬﾝﾍﾟｰﾝ冊子

（３）沖縄自動車道における現状について（ETC利用率が低いことによる主な課題）
③観光振興への影響（繁忙期における所要時間の増加）

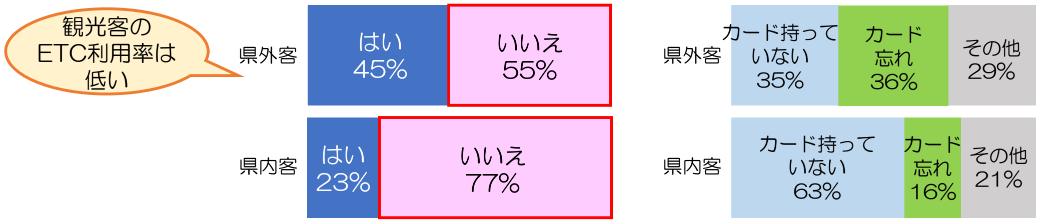
○ 特に行楽期では、観光地近傍の料金所で渋滞が頻発しており、所要時間の増加が見られます。
○ 県内外問わず、観光客の多くはETC利用していない状況です。
○ 小型車における休日のETC利用率は、平日と比べ約6ポイント低くなっています。

○ ETCの利用率向上により、特に行楽期における定時性の向上が見込まれます。

主な観光地と主な料金所渋滞の状況

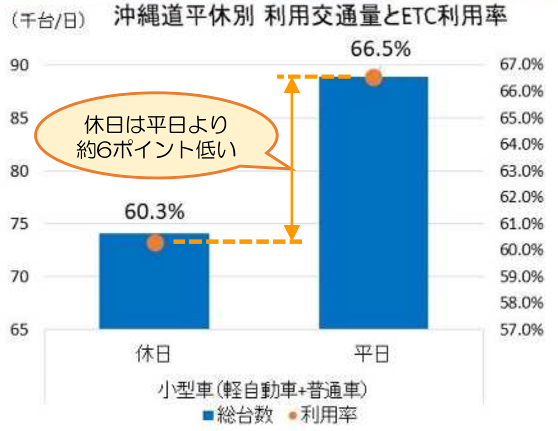
（渋滞回数はR1年度実績）

観光客のETC利用率



出典：沖縄総合事務局による主要観光地でのインタビュー調査（H27.9）

沖縄道平休別 利用交通量とETC利用率(小型車)



出典：NEXCO西日本データ

行楽期における所要時間の増加

R1.5.3（金・祝）における渋滞状況
○ 許田ＴＢにて、最大3.8kmの渋滞発生
○ 渋滞時間：7:20～13:44（6時間24分）

西原ＩＣから許田ＩＣまでの通過時間

出典：NEXCO西日本データ

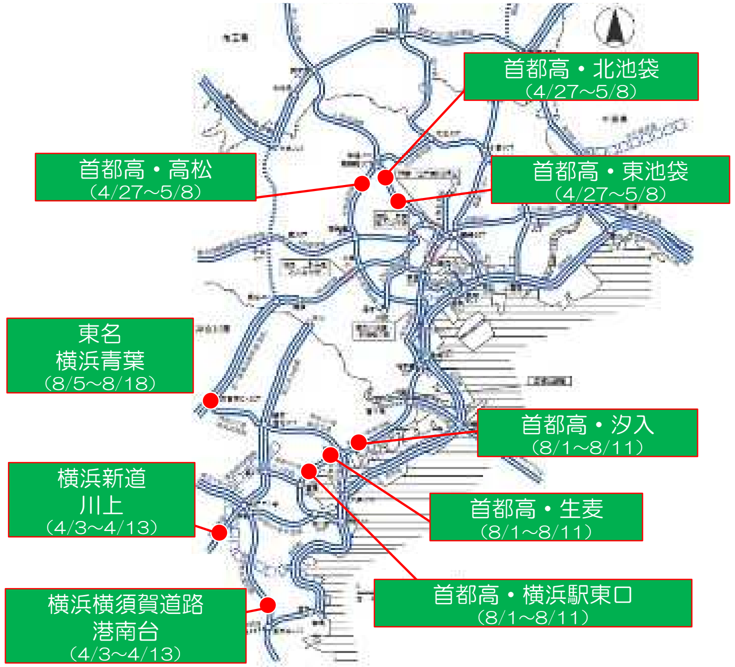
（３）沖縄自動車道における現状について（ETC利用率が低いことによる主な課題）
④新型コロナ感染による料金所閉鎖のリスク

○ 全国的な事例として料金収受員の新型コロナ感染に伴い、一部料金所において収受人員不足となり、現金車は利用不可となる事態が発生しました。
○ 沖縄道の料金所においても、R4.6.23時点で計２５名の収受員感染が発生しました。
（現金車利用不可となるリスク）

○ 感染拡大防止の観点から料金所のタッチレス・キャッシュレス化は重要

料金収受員感染に伴うＥＴＣ専用運用事例

料金収受員の新型コロナ感染に伴う
ＥＴＣ専用運用となった首都圏の主な料金所



年はすべてR2年。公表資料などからNEXCO西日本調べ

首都高・東池袋料金所における
ＥＴＣ専用運用状況（出典：国交省資料）

＜参考＞ ETC専用化等の動きについて

Press Release

国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

高速道路会社６社同時発表

令和２年１２月１７日
道路局高速道路課

ETC専用化等による料金所のキャッシュレス化・タッチレス化について
～都市部は5年、地方部は10年程度での概成に向けたロードマップの策定～

令和２年９月２５日に発表された社会資本整備審議会国土幹線道路部会の『「持続可能な国土幹線道路システムの構築に向けた取組」中間とりまとめ』において、導入手順や概成目標時期を明示したロードマップを策定し、料金所のキャッシュレス化・タッチレス化を計画的に推進すべきであると示されたことを踏まえ、各高速道路会社のETC専用化等に向けたロードマップを策定しました。

国土交通省道路局高速道路課
高速道路会社６社

ETC専用化等による料金所のキャッシュレス化・タッチレス化について

ETC専用化等の導入目的

○ 国土幹線道路部会中間とりまとめ（令和2年9月25日）等にあるように、ETCを活用することにより、
- 戦略的な料金体系の導入が容易になること等を通じた混雑の緩和など利用者の生産性の向上
- 将来的な管理コストの削減
- 高速道路内外の各種支払における利用者利便性の向上
- 料金収受員の人員確保が困難な中での持続可能な料金所機能を維持
- 料金収受員や利用者に対する感染症リスクの軽減

等に資することから、近年のETC利用率の拡大等の社会情勢の変化を踏まえつつ、ETC専用化等による料金所のキャッシュレス化・タッチレス化を推進。

ETC専用化等の進め方に係る基本的考え方

○ 以下の基本的考え方を踏まえつつ、各高速道路会社の実情に応じて推進
- 都市部は5年、地方部は10年程度での概成を目指して計画的に推進
- ETC利用率・非ETC車の交通量・近隣ICでの代替性等を考慮し、一部料金所で試行的に開始し、運用状況等を踏まえながら、順次拡大
- 料金精算機が導入されている場合は、当面の間、料金精算機とETCを併用することも検討
- 実際の導入に当たっては、早期に周知・広報することにより、利用者の混乱を回避

○ また、ETC専用化等の導入・拡大に併せ、以下の点について引き続き検討
- 車載器助成やETCパーソナルカードのデポジットの下限の引き下げ等によるETCの利用環境の改善
- 誤進入等による非ETC車対策（車籍照会の効率化等の適切な事後徴収方法の構築）、非ETC車の料金徴収コスト差を踏まえた非ETC車の利用者負担、管理コストの状況を踏まえた利用者への還元策、将来的な本線料金所の撤去等

1

ETC専用化等のロードマップについて

地方部

	料金所数（※2）	2020年度（R2年度）	2021年度（R3年度）	2022年度（R4年度）	2023年度（R5年度）	2024年度（R6年度）	2025年度（R7年度）	2026年度（R8年度）	…	2030年度頃（R12年度頃）
NEXCO3社・本四高速	N東：331 N中：179 N西：339 本四：34	導入準備（※3）			数箇所で導入 ⇒ 運用状況や各地域の特性等を考慮しつつ順次拡大					全線